

The 80th JAPAN GAMES

南部町ふるさと運動公園熊対策マニュアル

1. 事前予防・環境整備（練習・試合開始前）

1) 見通しの確保と清掃

🐻 ピッチ周辺の草刈りを徹底し、見通しを良くする。

🐻 ゴミ（特に食べ残し、清涼飲料水の空き缶など）は熊を誘引するため、必ず持ち帰るかゴミ集積テント（密閉状態にする）に回収する。

2) 音による存在アピール

🐻 練習開始前や早朝の準備時には、ホイッスルを鳴らす、大きめの音で“国スポ公式ソング”を流すなどして人間の存在を知らせる。

3) 情報収集と共有

🐻 青森県、南部町及び警察の「熊出没情報」を事前に確認する。

🐻 早朝・夕方の時間帯は熊の活動が活発になるため、時間帯に応じた注意喚起を行う。

4) 防災備品・連絡網の確認

🐻 実施本部に「熊撃退スプレー」や「高音量ホイッスル」を備え付ける。

🐻 緊急連絡先（警察：110 番、南部町農林課：0178-38-5964）を実施本部、総合受付、競技本部に掲示する。

2. 目撃時の対応

1) 目撃（遠くにいる場合）

🐻 判断：青森県サッカー協会、会場長、副会場長、事務局長で中断、継続を審議し、対応を決定する。

🐻 中断：審判はすぐにホイッスルを長く鳴らし、プレイを中断・中止する。また、放送係は一般観客者に対して中断をお知らせする。委託警備員も拡声器で熊の出没についてお知らせする。

🐻 退避：大声を上げず、走らず、熊に背を向けないようにしながらゆっくり管理棟、名川中学校体育館、倉庫、車内へ避難する。

🐻 連絡：安全な場所に退避後、警察及び南部町農林課へ通報する。

2) 接近（近くに現れた場合）

🐻 刺激しない：ボールを投げつける、大声で叫ぶ、急に走って逃げる行為は絶対に避ける（熊は逃げるものを追う習性がある）。

🐾 防御態勢：避難が間に合わない場合は、両腕で首の後ろや頭を守り、うつ伏せになる「防御姿勢（クッション姿勢）」をとる。

3. 競技関係者別の役割

1) 審判・指導者

🐾 試合・練習の中断判断と、全選手への避難誘導指示。

🐾 ボールや荷物の回収よりも「人命優先の避難」を徹底させる。

2) 本部・運営スタッフ

🐾 通報（警察・南部町）および青森県サッカー協会への連絡。

🐾 観客や出店者の避難誘導。

3) 選手

🐾 指導者や審判の指示に従い、パニックにならず集団で移動・避難する。

4. 対策チェックリスト（ベンチ・本部常備用）

- ☐ 周囲の草むらやゴミ箱の点検完了
- ☐ 熊撃退スプレーの配置確認（実施本部・総合受付）
- ☐ 緊急連絡先一覧の掲示確認（実施本部・競技本部・総合受付）
- ☐ 避難場所（建物・車）の鍵が開いているかの確認

5. 避難先

1) 審判・指導者・選手

🐾 管理棟、倉庫

2) 本部・運営スタッフ

🐾 管理棟、競技本部

🐾 名川中学校体育館

3) 控えチーム

🐾 送迎バス、倉庫

4) 観客・出店者

🐾 名川中学校体育館・テニスコート

